

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R13	県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	・とみぐすく祭りの来場者数：60,000人	【今後のスケジュール】 県内外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするためとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタを同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	【R5成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	②	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R13	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽木の管理(除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹木の除草清掃、花木の植栽管理を継続して行っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 事業の目的である魅力的な観光地としての景観形成を図られたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
1	③	豊見城市観光施設環境美化強化事業	R4 ～ R13	魅力的な景観形成を図るため、市内の観光施設の広場等の環境美化作業(清掃・剪定・植栽等)を行う。	市内観光施設における広場等の環境美化実施	来訪者へのアンケート調査等を実施し、観光地としてふさわしい景観形成とを感じるか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 来訪者の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証する。
1	④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎海浜公園の来園者数の増加に向けた遊泳エリア等の環境改善・施設整備を行い、観光振興及び地域活性化を図る。	航路浚渫、施設備品整備の実施	航路浚渫、施設備品整備の完了	【今後のスケジュール】 遊泳エリアの環境改善・施設整備を行うことで、観光客等の利便性向上を図る。 【R6成果目標】 ビーチ利用者数：20,000人	R6成果目標については、過去のビーチ利用者数に基づき設定した。 【実績】 平成28年度：20,433人 平成29年度：21,215人 平成30年度：13,198人 令和元年度：15,501人

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	文化観光創出事業	H24 ～ R7	平成25年度策定の「豊見城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・グスクゾーン周辺整備の実施設計、野戦病院壕周辺整備に伴う基礎調査業務、工事に伴う磁気探査業務の実施。 ・遊歩道階段整備工事の実施。	・実施設計、基礎調査業務、磁気探査業務の完了。 ・整備工事の完了。	【今後のスケジュール】 ・施設整備(～R7) 【R8成果目標】 年間来場者数:2万人	【R8成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	⑥	第2次豊見城市観光振興計画策定事業	R5	第1次観光振興計画における各施策の取組成果を検証し、その結果と社会情勢や環境の変化を踏まえた観光政策の指針となる第2次観光振興計画を策定する。	・現行計画の検証、観光振興に係る実態調査 ・観光振興に係る方向性・方針の検討、ロードマップ及び事業体系図の作成 ・委員会等の開催(6回予定) ・第2次観光振興計画の作成	第2次豊見城市観光振興計画の策定完了	【R6成果目標】 策定した第2次豊見城市観光振興計画に基づき、各観光振興施策に取り組み令和6年度入域観光客数740万人以上。 【今後のスケジュール】 R5 第2次豊見城市観光振興計画の策定 R6以降 各観光施策の展開	【R6成果目標設定の考え方】 本事業において、新たに目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な経済施策を展開する。観光地点等入込客数については、現行計画における指標から目標値を設定した。
1	⑦	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R5	首都圏において本市の物産展と、本市の観光・文化等についてのPR展を併せて開催し、ノベルティの配布やアンケート調査等を実施する。	首都圏にて物産展及びPR展を行う。	実施場所における来場者数 首都圏 5,500名以上(3日間)	【今後のスケジュール】 全国的に知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:1名 (就学前)	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 保護者や保育士等の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	②	発達支援保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	加配保育士配置数 69名	・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内障害児(対象児)に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	【今後のスケジュール】 加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 ・加配保育士の対応への満足度 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・加配保育士の配置割合 過去の実績を参考に設定した。
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:33人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にあることから、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。
3	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人 全国標準学力調査の実施 小1～中2:年1回 学力調査の実施 中3:年1回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.6ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	支援対象ケース改善率:51.8%以上(改善ケース件数/支援対象ケース件数)	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	学習支援補助員を3人配置する。 適応指導教室:2人 中学校:1人 登校支援員を小学校8校に1人ずつ配置する。	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。	不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もある事から、切れ目なく継続した不登校対策が必要。	
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	外国人英語講師(ALT)を市内3中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師(JTE)を市内8小学校に配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そうは思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてJTE派遣に対しマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。	
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	情報教育指導補助員派遣:4人 アクセスポイント整備:2台 電子黒板整備:63台 教師用タブレットPC端末整備:23台 デジタル教科書整備(小学校):8校 デジタル教科書整備(新設中学校):1校	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R5年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたという回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑦	児童生徒等派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外又は離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒等派遣費の一部を補助	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が90%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	アンケート結果割合が今後も90%以上となるよう継続支援を行う。
3	⑧	児童生徒等派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、代表選手として県内離島又は県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒等派遣費補助費の一部(航空運賃の80%)を補助 348名 × 36,000円 1/2 = 6,264,000円 × 80% ≒ 5,011,000円	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、県外又は離島への派遣をとおして、児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。	アンケートを実施し、視野が広がったか(80%を目安に)調査する。
3	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラム実践していく。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持たせたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
3	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効果の良い小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信 1,025件 地域資料収集作業 2地域 歴史資料の電子化 3,201点 電子地図系コンテンツ作成 4件	webサイトアクセス数 66,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 2種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数66,000回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 成果目標値は類似機関と市公式ホームページ(文化課担当)等の年平均アクセス数より平均値を積算設定したR4目標の10%増を目標に設定した。
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R元 ～ R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	・プロチームへの誘致活動、環境整備のための要望調査 ・県内の先進自治体視察及び情報収集 ・芝生の維持管理	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	【今後のスケジュール】 令和6年度以降指定管理制度導入による維持管理費の削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R5成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。
5	②	スポーツコンベンション拠点機能向上事業	R2 ～ R5	バレーボール等のナショナルチームレベルの合宿が可能になるよう備品購入を行うことで、継続的な合宿誘致を実現する。	ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿に必要な備品購入の整備 ・市民体育館バレーボール用サブマシン:1台	ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿に必要な備品購入の整備	【今後のスケジュール】 2024年デフバレー世界選手権の開催に向けて活動する。 【R6以降成果目標】 ・スポーツコンベンション誘致件数:4件/年	【R6以降目標設定の考え方】 令和6年度以降、合宿誘致を実施し、ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿による誘客により観光振興の成果目標とする。
6	①	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業	R5 ～ R9	公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。	委託事業者の選定・契約締結 アンケートを市内全世帯に配布 タクシーの利用を通して調査実施 アンケート結果を取りまとめ協議会にて協議を行い、課題等を整理する 需要調査報告書作成 市内小学校での公共交通利用促進に向けた学習の開催	市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増	【今後のスケジュール】 既存公共交通を補う施策を導入し、移動の選択肢を増やすことでバス利用者の増に繋げ、公共交通利用者数全体の底上げを目指す。 公共交通利用者を増加させることで基幹軸となる交通の必要性を高め、将来的には新しい公共交通システムの導入に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 本市総合計画の目標値を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
6	②	低炭素社会構築事業	R5	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、市立中央公民館の空調設備の機能強化を行う。	空調設備の機能強化工事の実施	空調設備の機能強化工事の完了	<p>【R6成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館中ホールにおける電気使用量を基準年度(R1)より11%以上削減。 中央公民館会議室等における電気使用量を基準年度(R1)より11%以上削減。 <p>【今後のスケジュール】</p> <p>R5: 省エネ設備導入工事</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>本市の地球温暖化防止実行計画に基づいて設定した。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。